

## 第2回教育研究評議会（定例）

開催：令和5年5月2日(火)  
 場所：本部棟2F会議室、オンライン  
 出席：学長、理事（教育接続・連携P F担当）、理事（研究・社会連携担当）、  
 理事（総務・経営改革担当）、理事（ダイバーシティ&インクルージョン担当）、  
 国際本部長、教育高度化本部長  
 工学研究院長、情報工学研究院長、生命体工学研究科長、教養教育院長  
 臨席：近藤監事、林田監事

No.	種別	議題	結果	主な意見
議題1	(審議事項)	教育職員選考委員会の設置	承認。教育研究評議会が指名する者は以下のとおり。 情報統括本部/情報基盤センター 助教または准教授 1名 →安田研究科長、高崎理事	
議題2	(報告事項)	客員教授等の称号授与		
議題3	(報告事項)	令和4年度不正防止対策実施計画及びリスク別対応計画の取組状況		
議題4	(審議事項)	公的研究費リスク別対応計画（令和5年度）の制定	原案のとおり承認	○林田監事：内部通報から不正が発覚することが多いため、担当者へ連絡しやすい環境が重要となるが、どのように連絡手段を周知しているか。 →鈴木理事：研究不正の窓口とは別に通報窓口を設けており、大学HP上に連絡先を掲載している。 ○近藤監事：令和5年度の対応計画について、監事との連携を強化することになっており、コンプライアンス室とともに協力して取り組みたい。 また、内部通報システムについては、教職員や学生にどのように伝えるかが重要。周知方法や通報ができる環境をその都度吟味していく必要がある。
議題5	(報告事項)	令和4年度内部監査に関する改善状況等		○近藤監事：備品シールについて、チップを利用する方法等これまでのやり方にとられない方法を考え、それぞれの仕事の効率化を図っていただければ。 ○林田監事：備品シールについて、時間も手間も取らないやりやすい形で改善策を見いだせればと考える。オペレーティングの仕方という点でも、流れの中でプリベンティブになっているかではなく、こうした方が効率が良い、という見方をし、様々な視野で色々な意見を取り入れながら都度プロセスフローの見直しを行った方が良い。 →三谷学長：効率化提案の結果を評価できる仕組みを導入したいと考えており、管理本部で検討中である。
議題6	(報告事項)	学生・職員の新型コロナウイルス感染状況		
議題7	(報告事項)	令和4年度卒業・修了者の進路状況		
議題8	(報告事項)	半導体中核人材リスクリキング推進室の設置		
議題9	(報告事項)	令和4年度共同研究、受託研究、寄附金の受入実績		
議題10	(報告事項)	国際交流協定等の締結および終了		
議題11	(報告事項)	九州工業大学とフランス・ロレーヌ大学との合同連携プロジェクト		
議題12	(報告事項)	地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業採択について		